



外国出張報告書

平成 27 年 4 月 17 日

1. 出張国名 モザンビーク
2. 出張月 平成 27 年 2 月～3 月
3. 出張目的 モザンビーク視察への随行、圃場試験での生育調査：A

4. 成果の概要

アフリカサバンナ農業プロジェクトのモザンビーク視察に随行し、グルエへは道路アクセスが悪く行けなかったが、リシंगाとナンプラで、実施中のOn-Station試験、On-farm試験について説明した。

リシंगा、ムトゥアリ、ナンプラのIIAM試験場内での圃場試験（NPK欠如試験）で、ダイズとトウモロコシの植物体のサンプリングを行った。ダイズの後作区での生育が良いようである。

リシंगा、グルエ、ナンプラの農家圃場試験（ダイズ播種時期試験）で、ダイズ植物体と土壌のサンプリングを行った。12月中旬播種よりも12月下旬播種の方が生育が良好な傾向があり、以降、1月中旬、1月下旬（2月上旬）播種にかけて生育量が小さくなっている。

IIAMのカウンターパートと第2フェーズへ向けた議論を行うとともに、ソルガムの栽培マニュアルに関して、普及員とIIAM研究者の議論の場を設けた。